

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ADEKA
 コード番号 4401 URL <http://www.adeka.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 郡 昭夫
 (氏名) 影島 光
 TEL 03-4455-2803
 配当支払開始予定日 平成28年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	108,895	△0.7	9,875	10.0	8,865	1.8	6,085	3.8
28年3月期第2四半期	109,697	9.3	8,980	31.3	8,705	19.6	5,863	16.9

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 2,326百万円 (△63.0%) 28年3月期第2四半期 6,283百万円 (12.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	58.95	—
28年3月期第2四半期	56.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	266,898	171,444	61.7
28年3月期	270,038	170,586	60.5

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 164,626百万円 28年3月期 163,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成28年5月12日に公表の決算短信に記載した配当予想を修正しています。詳細は、本日(平成28年11月2日)公表いたしました「2017年3月期配当予想の修正(創立100周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。なお、平成29年3月期の期末の1株当たり配当金(予想)には、創立100周年記念配当金5円を含んでいます。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	221,500	△0.6	18,500	△4.1	18,100	△7.5	12,300	△7.2	119.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成28年5月12日に公表の決算短信に記載した業績予想を修正しています。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	103,651,442 株	28年3月期	103,651,442 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	412,666 株	28年3月期	365,531 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	103,238,811 株	28年3月期2Q	103,286,307 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2016年4月1日から同年9月30日）における世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復基調が持続しましたが、英国のEU離脱が国民投票により決定されたことや中国及び新興国の成長鈍化などにより、景気の下振れリスクが高まり、先行き不透明な状況が続きました。国内は、雇用環境の着実な改善により一定の底堅さを維持しつつも、円高の進行や個人消費の低迷、世界経済の先行き不透明感などが重石となり、景気の足踏み状態が続きました。

当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野は、欧米及び中国市場での自動車販売が堅調に推移しましたが、国内は力強さに欠ける状況が続きました。IT・デジタル家電分野は、オリンピック需要などにより4Kテレビの販売が国内で好調に推移し、市場成長を牽引しました。製パン・製菓関連分野は、安定した国内需要に支えられ、堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画『STEP 3000-II』で掲げた「売上高3,000億円のグッドカンパニー」の実現に向けて、成長戦略を加速させています。海外では、米国の高機能添加剤設備及びフランスのワンパック顆粒添加剤設備の増強に着手しました。また、中国の艾迪科（上海）貿易有限公司は会社形態を投資性会社に変更し、「艾迪科（中国）投資有限公司」としました。さらに、「艾迪科精細化工（浙江）有限公司」の設立も進めています。このほか、ベトナムにホーチミン市駐在員事務所を設立するなど、事業規模拡大に向けた展開を積極的に行っています。食品事業では、関西圏のリテール市場に営業基盤を有する株式会社クラウンの株式を追加取得し、当第2四半期より連結子会社化しました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,088億95百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は98億75百万円（同10.0%増）、経常利益は88億65百万円（同1.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億85百万円（同3.8%増）となりました。

報告セグメント別の概況は次の通りです。

(化学品事業)

当事業の売上高は、732億2百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は87億51百万円（同6.9%増）となりました。

①情報・電子化学品

光硬化樹脂や光重合開始剤は、光学フィルムやフォトレジスト向けの販売が国内外で堅調に推移しました。半導体材料は、NANDメモリの3D化に使われる製品の販売が堅調に推移しましたが、DRAMの微細化プロセスに対応した高誘電材料がパソコン、スマートフォンなど最終製品の市況悪化の影響を受けました。回路材料は、リードフレーム向けのエッチング薬剤が国内で堅調に推移しましたが、海外市場での生産調整の影響を受け、総じて低調に推移しました。

情報・電子化学品全体では、前年同期に比べ減収減益となりました。

②機能化学品

樹脂添加剤は、自動車、住宅関連の回復により、造核剤、透明化剤などの高機能添加剤や塩ビ向け安定剤が国内外ともに堅調に推移しましたが、円高による為替の影響を受けました。界面活性剤は、化粧品向けのグリコール系保湿剤や塗料・接着剤向けの反応性乳化剤が海外を中心に堅調に推移しました。潤滑油添加剤は、自動車エンジンオイル向けの添加剤が国内外で好調に推移しました。機能性樹脂は、水系ウレタンや自動車向けの高機能な特殊エポキシ樹脂の販売が海外を中心に伸長しました。

機能化学品全体では、前年同期に比べ減収増益となりました。

③基礎化学品

プロピレングリコール類は、トイレタリー等の日用品用途の需要が堅調に推移しました。過酸化水素は、生産・物流効率などのコスト削減に継続して取り組んだことに加え、同誘導品がトイレタリー等の日用品用途で需要が拡大したことにより、堅調に推移しました。

基礎化学品全体では、前年同期に比べ減収増益となりました。

(食品事業)

当事業の売上高は、316億60百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は9億34百万円（同74.9%増）となりました。

国内では、製パン、製菓、洋菓子向けにマーガリン、ショートニング類の販売が好調に推移しました。海外では、販売・開発体制の強化と現地ニーズにあった製品の開発などにより、中国、東南アジアでの市場が拡大し、販売が伸長しました。

食品事業全体では、前年同期に比べ増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明
資産、負債および純資産の状況

総資産につきましては、前期末に比べ31億40百万円減少（前期比1.2%減）し、2,668億98百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金と有形固定資産の減少です。

負債につきましては、前期末に比べ39億98百万円減少（前期比4.0%減）し、954億54百万円となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金の減少です。

純資産につきましては、前期末に比べ8億57百万円増加（前期比0.5%増）し、1,714億44百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2016年5月12日に公表した業績予想を上回りましたが、第3四半期以降の為替の動向、需要動向等をもとに、2017年3月期連結業績予想を下表の通り修正しています。なお、この修正の前提となる為替レートにつきましては、前回予想からUSドルを12円、ユーロを10円それぞれ円高に見直し、「1USドル=103円、1ユーロ=115円」と想定しています。

[2017年3月期の連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	231,000	19,400	19,800	13,500	130.71
今回修正予想 (B)	221,500	18,500	18,100	12,300	119.14
増減額 (B-A)	△ 9,500	△ 900	△ 1,700	△ 1,200	
増減率 (%)	△ 4.1	△ 4.6	△ 8.6	△ 8.9	
(ご参考) 前期実績 (2016年3月期)	222,746	19,300	19,569	13,259	128.38

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(2016年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「2016年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 2016年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,367	46,088
受取手形及び売掛金	45,444	45,622
有価証券	4,733	6,308
商品及び製品	20,702	20,250
仕掛品	4,323	4,417
原材料及び貯蔵品	14,944	14,468
その他	6,768	6,137
貸倒引当金	△207	△185
流動資産合計	145,076	143,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,496	22,761
機械装置及び運搬具（純額）	26,266	25,962
土地	21,210	21,082
その他（純額）	7,556	6,917
有形固定資産合計	78,529	76,723
無形固定資産		
のれん	155	105
その他	3,663	3,632
無形固定資産合計	3,818	3,738
投資その他の資産		
投資有価証券	33,472	34,038
その他	9,141	9,290
投資その他の資産合計	42,613	43,328
固定資産合計	124,962	123,791
資産合計	270,038	266,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,505	30,902
短期借入金	17,406	15,825
1年内償還予定の社債	—	7
未払法人税等	2,551	1,783
賞与引当金	2,133	2,199
その他の引当金	69	34
その他	10,324	9,189
流動負債合計	65,991	59,940
固定負債		
社債	—	304
長期借入金	10,814	12,530
退職給付に係る負債	15,707	15,745
その他の引当金	160	229
その他	6,779	6,703
固定負債合計	33,461	35,513
負債合計	99,452	95,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,899	22,899
資本剰余金	19,926	19,926
利益剰余金	110,764	115,440
自己株式	△227	△285
株主資本合計	153,363	157,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,490	4,951
土地再評価差額金	4,276	4,276
為替換算調整勘定	4,082	159
退職給付に係る調整累計額	△2,904	△2,741
その他の包括利益累計額合計	9,945	6,645
非支配株主持分	7,276	6,817
純資産合計	170,586	171,444
負債純資産合計	270,038	266,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
売上高	109,697	108,895
売上原価	84,298	82,000
売上総利益	25,398	26,895
販売費及び一般管理費	16,418	17,019
営業利益	8,980	9,875
営業外収益		
受取利息	139	145
受取配当金	211	200
その他	200	258
営業外収益合計	550	604
営業外費用		
支払利息	224	202
持分法による投資損失	148	169
為替差損	166	1,018
その他	285	225
営業外費用合計	825	1,615
経常利益	8,705	8,865
特別利益		
投資有価証券売却益	—	74
特別利益合計	—	74
特別損失		
有形固定資産除却損	241	81
投資有価証券評価損	29	—
関係会社出資金評価損	—	146
特別損失合計	271	228
税金等調整前四半期純利益	8,434	8,711
法人税、住民税及び事業税	2,149	2,230
法人税等調整額	△10	△73
法人税等合計	2,139	2,156
四半期純利益	6,294	6,554
非支配株主に帰属する四半期純利益	431	469
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,863	6,085

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
四半期純利益	6,294	6,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△747	517
為替換算調整勘定	658	△4,850
退職給付に係る調整額	114	143
持分法適用会社に対する持分相当額	△36	△38
その他の包括利益合計	△11	△4,228
四半期包括利益	6,283	2,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,672	2,785
非支配株主に係る四半期包括利益	610	△459

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,434	8,711
減価償却費	4,692	4,509
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	553	222
有形固定資産除却損	241	81
関係会社出資金評価損	—	146
受取利息及び受取配当金	△350	△345
支払利息	224	202
為替差損益 (△は益)	165	853
持分法による投資損益 (△は益)	148	169
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,949	△1,985
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,338	△847
仕入債務の増減額 (△は減少)	611	△300
その他	△650	480
小計	9,782	11,898
利息及び配当金の受取額	570	569
利息の支払額	△259	△184
法人税等の支払額	△2,406	△2,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,688	9,295
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	2,600	6,199
有価証券の取得による支出	△2,600	△9,799
有形固定資産の取得による支出	△4,119	△4,814
無形固定資産の取得による支出	△543	△460
投資有価証券の取得による支出	△109	△22
その他	△630	357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,403	△8,539
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	573	△218
長期借入れによる収入	5,000	2,115
長期借入金の返済による支出	△5,605	△2,464
配当金の支払額	△1,449	△1,654
その他	△311	△375
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,792	△2,597
現金及び現金同等物に係る換算差額	222	△2,630
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	715	△4,471
現金及び現金同等物の期首残高	41,697	49,981
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	577	89
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,990	45,599

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品事業	食品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	76,843	29,489	106,333	3,364	109,697	—	109,697
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	100	8	109	6,118	6,227	△6,227	—
計	76,944	29,497	106,442	9,482	115,924	△6,227	109,697
セグメント利益	8,189	534	8,723	295	9,018	△38	8,980

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△38百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品事業	食品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	73,202	31,660	104,862	4,033	108,895	—	108,895
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	80	9	90	6,033	6,123	△6,123	—
計	73,282	31,670	104,953	10,066	115,019	△6,123	108,895
セグメント利益	8,751	934	9,685	249	9,935	△59	9,875

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△59百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。